

魅力を耕す

高山市では地域の特性を生かした農業生産が盛んです。広報たかやまでは、私たちの暮らしの重要な役割を担っている農業について、特色ある農作物の生産や特徴的な取り組みなどをシリーズでご紹介しています。

ブランドの「すずらん大根」 オーナー制度も高い人気

⑤朝日地域

大根栽培に早くから取り組んでいる西洞団地の藍田久長さんあいだひさながは大根栽培の草分け的存在で、昭和63年から1・3畝で年間約5000箱(1箱10本相当)を出荷しています。

朝日地域では、経営規模の拡大や農業経営の安定化を図るため、昭和62年から始まった国営農地開発事業で、宮之前・西洞・牧戸の3団地、31・6畝を整備しました。

これらの畑では、UターンやIターンの就農者を中心に、標高1200以上の冷涼な気候を活かした大根、トマト、ホウレンソウなどの高冷地野菜が栽培されています。

中でも大根は、甘くておいしいと好評の「すずらん大根」のブランドで市場を通じて主に中京方面へ出荷され、高値で取引されています。

また10年前からは消費者との交流を進めようと「オーナー畑」も手がけています。毎年7月には、飛驒一円からオーナーを募集していますが、すずらん大根の人気は大変高く、オーナーになれなかった方が、翌年の予約を申し込むほどです。藍田さんは地産地消にも意欲的で、道の駅ひだ朝日村の「農林産物直売所」にも7月中旬から10月中旬にかけて、週に1回50本程度出荷されていますが、あつという間に売り切れてしまうほどの人気商品となっています。

これからも、すずらん大根を中心とした高冷地野菜の販売を通じて、地域の活性化を図っていきます。



冷涼な高原の大地に広がる大根畑



オーナーによる大根の収穫

秋の味覚がいっぱいです

「道の駅農林産物直売所」は、国道361号沿いの道の駅ひだ朝日村の正面にある直売所です。専業農家が栽培したダイコン、トマト、ホウレンソウなどの高冷地野菜はもとより、専業主婦や高齢者などが、自宅の庭先にある小さな畑で真心をこめて育てた旬の新鮮野菜が、格安の値段で豊富に並んでいます。

●問合先 道の駅ひだ朝日村 ☎55-3777



秋の市民ハイキング 10月24日(日) / 原山市民公園



原山遊歩道を利用して片道約1kmを散策。スタンプラリー方式で、先着250世帯に苗木と球根を配付します。なお、飛驒牛乳工場の見学もできます。(参加無料。参加者は当日会場集合。雨天の場合は苗木と球根の配付のみ)

- 時間 午前7時～11時まで受付
- 問合先 (財)高山市施設振興公社(☎32-0406) 都市整備課(☎35-3176)

昼間の緊急情報もしっかりと確実に伝えます。

高山防災ラジオ

- 申込みは最寄りの電機商業組合加盟店で取り扱っています。
- 利用料は月額300円(平成25年3月まで100円を市が助成)です。
- 問合先 企画課(☎35-3134)



●支所地域のご家庭で利用されている戸別受信機は平成23年3月末で利用できなくなります。